



第8回公開講座報告

日時 9月28日(水) 10:00~12:00
テーマ 京都府南部弱視特別支援学級等保護者向け研修会
「視覚障害のある児童生徒の将来像とそなえ」
講師 田渕りさ氏



第8回公開講座は、講師に田渕りさ氏をお招きし、京都府南部弱視学級等保護者向け研修会を開催しました。講師の田渕氏は視覚障害のお子さんを3人育ててこられ、この御経験を基に、視覚障害のある子ども達を育てるにあたって心がけてこられたこと、子育ての中で考え実践されてこられたことを中心にお話をいただきました。講座では、田渕氏と御家族の自己紹介を兼ねて、以前御家族で御出演されたNHK教育テレビ『きらっといきる』のDVDを見た後、上記のテーマでお話いただき、その後、参加者からの質問を受けて、具体的な課題や悩みにお答えいただきました。お話は、「一番大事にしていること」「子どもと私は違う人」「進路について」など、15のトピックスを基に展開されました。具体的には、どんなに忙しいときでも子どもの話を聞くこと、子ども扱いせず子どもの思いや考えを確認して行動すること、自分の障害について人に説明できることが自分を守ることにもなり得ること、言葉で伝えることの大切さ等について話されました。それらのお話の根底にあるのは、子どもと自分は別の人間、それ故に、御自身のものとは異なる子どもの気持ちや考えを尊重するというお考えでした。自らの思いや感情をコントロールしながら、お子さんの邪魔をしないように、深い視点を持って子育てを実践されていることが大変印象的でした。視覚障害児のみならず、子育て全般においてもヒントが得られる、示唆に富むお話を聞かせていただき、参加者もスタッフも新たな視点で考える機会をいただきました。



<参加者アンケートより 感想> (抜粋)

- ・一番自分の中で印象に残ったのが、子どもが話しかけてきた時に用事をしていても手を止めて聞いてあげる事が大事ということです。子どもが何でも話しかけてくれる状況をもっと作っていくように心がけていきたいです。
- ・生きるための力を学校、家庭とで両立して付けていきたいと感じました。自分の気持ちや感じることを言葉で伝えられる力、周りを感じる力をつけてもらいたいです。
- ・お話を聞いて、これからの子育てに役立ちそうなことがたくさんありました。前向きに頑張っていこうと思います。進路についての話を聞くことができ、今後の参考になりました。今だけでなく、将来を見据えて過ごしていきたいと思いました。

次回、第9回公開講座は、10月15日(土) 13:30~16:30

<きこえの保護者研修会> きこえにくい子どもたちの言葉の理解、表現力 ~作文、日記について~ です。